

図工・美術部会 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	「中学校美術・小学校図画工作の新しい『評価』について」	
日時	令和 3年 11 月 16 日(火) 14:30～16:30	
会場	夢プラザ	
講師	村上 尚徳 氏 (肩書:) IPU 環太平洋大学副学長	
参加者	約 22名	
研修会 の 様子		IPU 環太平洋大学副学長の村上尚徳教授を講師に迎え、小学校および中学校の教育課程および評価についての講演をしていただきました。 研修会は Zoom によるリモートで実施しました。
		最初に図工・美術の評価は必要なのかについて、その意義を確認すると共に、改めて義務教育の必修教科として、身に付けなければならない資質や能力があり、その内容が身に付いたかどうかを評価していると話して下さいました。また、教科としてどのような力を育成しているのかについても具体的に研修することができ、充実したその内容に参加者一同が納得する場面も見られました。
		具体的な内容では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」の3つの柱を中心に話が繰り広げられ、美術がもつ力や授業展開をする際の心構えなどについても話があり、とても有意義な研修会となりました。